

多古町社協だより

令和 6 年(2024)

第137号

発行 令和 6 年 5 月 1 日



3/8 ふくしウィーク・食事サービス



見守りの必要な高齢者の方々へ
メッセージカードとお弁当を
お届けしました。



主な内容

- 2～3ページ ふくしウィーク・表彰
- 4～5ページ 社会福祉協議会予算
カメラルポ
- 6ページ お知らせ

Happy Mother's Day



編集・発行

社会福祉法人 多古町社会福祉協議会

多古町多古777番地1 電話 76-5940

社協ホームページ

<http://www.takoshakyo.jp/>



社協X(旧Twitter)

<https://twitter.com/takoshakyo>



社協Facebook

<https://www.facebook.com/takoshakyo/>



愛編む #TAKO ふくじウィーク

—多古町にあるフクシを楽しむ1週間!!—



多古町社会福祉大会



多古町社会福祉協議会 市東美恵子会長

古町社会福祉大会



講師 伊藤純氏

3月2日から9日まで、多古町の福祉団体が協同してイベントを行う、「愛編む #TAKO ふくじウィーク—多古町にあるフクシを楽しむ1週間!!—」を開催しました。

この取り組みは、多古町社会福祉協議会が主催となり、多古町の皆様に楽しみながら町にあるフクシに触れ、体験したり考えたりする機会として企画しました。

多古町社会福祉協議会は、3月2日に第37回多古町社会福祉大会、8日に食事サービスを担いました。

社会福祉大会では、多古町の社会福祉の発展に貢献された皆様の表彰と、「災害支援を通して学んだ地域防災」と題して、一般社団法人四番隊、伊藤純氏に講演していただきました。

一般社団法人四番隊は、多古町が令和元年の台風15号で大きな被害を受けた際、ボランティアとしていち早くかけつけ、多古町の復旧に携わっていただいた団体です。そのご縁から、多古町社会福祉協議会と四番隊は令和5年5月に災害協定を結びました。

四番隊は今年1月に起きた能登半島地震でも石川県を中心とした地域へ駆けつけ、現在でもボランティア活動を続けています。

講演では「災害が起きた時に、自身が被災者にならないような備えをすること。困っているときに助けを求めため、また、助けてあげるためにも、日ごろ人

2024年3月2日(土)~3月9日(土)

※詳細は町民向けイベント内容詳細をご覧ください。

※お問い合わせ先は、多古町社会福祉協議会です。お問い合わせ先は、多古町社会福祉協議会です。

とのつながりを作っておくことが大事です。」というお話をいただきました。

8日の食事サービスでは、保健推進員・配食・運転ボランティアの皆様のご協力をいただき、町内の一人暮らしの高齢者の皆様へ、安否確認を兼ねたお弁当の配達を行いました。中村学童保育所に通う児童作成のメッセージ付きの折り紙をお弁当と一緒にお配りしました。

ほかにも各福祉団体により、出張あそび大学、多古ではたらき、ヒーローズプロジェクト、にじいろカフェ、第14回歩け歩け大会など様々な催しが行われました。

来年度はさらに多くの皆様に参加していただきたいと思えます。

都市と農村交流協会



都市と農村交流協会 鎌形さん(左) 小川さん(中左)

多古町をもっと活性化した町に！を目標に20年間活動された、「都市と農村交流会」様より、会の解散にあたっての残金をご寄付いただきました。

代表を務められた小川成義さん（桧木）にお話を伺いました。

当時、定年を迎えたばかりの有志が集まり、島地区の畑を借りて、町内外の子供たちのじゃがいも・さつまいも掘の体験会を開催しました。

はじめの1、2年はピラ配りやラジオなど多くの団体に協力していただき、参加者集めに奔走しましたが、その甲斐あって3年目ごろからは定員以上の申し込みが来るようになりました。ある時には定員150名に対して500人もの応募があり、抽選となってしまったこともあり心苦しい思いとして残っています。

しかし一番の思い出は、当日の運営やふかしたイモの炊き出しなど、島地区の方々のご協力のおかげで、参加者の方々には袋いっぱいイモを持ち帰ってもらい、多古町っていいところだねと思っていただけなことです。

現在では多古町を活性化していこうという団体も増え、後を継いでもらえるという感じもあります。会としては解散になりましたが、これからも多古町の為に頑張っていこうと思います。

社会福祉大会表彰



3月2日開催の社会福祉大会にて、多古町社会福祉協議会会長表彰として、地域活動・ボランティアなどに貢献された方々を表彰いたしました。

社会福祉大会は、多古町の社会福祉の発展に多大な功績のあった社会福祉関係者を表彰し、深く感謝をするとともに、多古町の社会福祉のさらなる充実を目指す機会とすることを目的としています。

授賞された皆様、おめでとうございます。

表彰

(敬称略)

多古町社会福祉協議会会長表彰

- ・菅澤 進（高津原）
- ・市原 實（多古）
- ・富澤 正吾（本三倉）
- ・三之宮 煌太（多古中）
- ・篠塚 悠真（多古中）
- ・上山 颯志（多古中）
- ・多古中学校生徒会
- ・多古第一小学校児童会
- ・久賀小学校児童会
- ・平山 大暉（中村小）
- ・依知川 優希菜（中村小）

感謝状

- ・観光・交流・助け合いネット多古
- ・都市と農村交流協会
- ・パールショップともえ多古店

令和6年度 事業計画並びに予算が、理事会・評議員会で決まりました

令和6年3月に理事会、評議員会が開催され、
令和6年度事業計画及び予算案などが話し合われました。

“共に支え合う みんなにやさしいまちづくり”

基本方針 本会は、住民や福祉関係者、関係機関との緊密な連携を図り、
地域の福祉課題や生活課題の解決に向け取り組んでまいります。

●●● 主な事業 ●●●

■在宅福祉関係

◆在宅福祉サービス

- ・食事サービスの実施
- ・日常生活用具の貸与
- ・ひとり暮らし高齢者等の見守り
- ・移動サービス事業
- ・日常生活自立支援事業



◆介護保険事業

- ・訪問介護サービス（ヘルパー）
- ・居宅介護支援事業（ケアマネジャー）
- ・介護保険外のサービス



◆障害者サービス事業

- ・訪問介護サービス（ヘルパー）

■高齢者福祉

- ・老人クラブの活動支援
- ・地区敬老会への助成
- ・ミニデイサービスの実施



■共同募金活動

- ・赤い羽根共同募金運動の実施
- ・歳末たすけあい募金運動の実施
- ・街頭募金の実施



■ボランティア活動の推進

- ・ボランティアの育成と活動支援（コーディネート、グループ助成）
- ・各種講座、研修、研究会の開催
- ・ボランティアセンター機能の充実
- ・ボランティアの登録促進
- ・ボランティア保険の援助
- ・ボランティア連絡協議会の運営



■地域福祉活動の推進

- ・地区社協への活動支援
- ・福祉団体の活動支援
- ・ボランティアの登録促進
- ・ボランティア保険の援助
- ・ボランティア連絡協議会の運営
- ・防災ボランティアの育成
- ・災害対応準備・訓練



■生活支援事業・広報 他

- ・生活福祉資金等貸付事業
- ・心配ごと相談所の運営
- ・広報誌さざんかの発行（年4回）
- ・ホームページ・SNSの運用
- ・ふくしウィークの実施



各事業の主な内訳

（単位：千円）

収 入	会費収入	4,191	支 出	人件費支出	49,401
	寄付金収入	600		事業費支出	372
	経常経費補助金収入	36,777		事務費支出	15,786
	共同募金配分金収入	2,598		共同募金配分金支出	2,598
	助成金収入	66		助成金支出	4,956
	受託金収入	8,368		負担金支出	122
	事業収入	212		積立資産支出	585
	負担金収入	421		その他の活動による支出	2,574
	介護保険事業収入	18,007		予備費支出	1,500
	障害福祉サービス等事業収入	449			
	受取利息配当金収入	17			
	その他の収入	1,353			
基金積立資産取崩収入	2,000				
前期末支払資金残高	2,835				
収入合計	77,894	支出合計	77,894		

令和6年度予算は学童保育所事業が契約解除となり、前年比3750万ほどの減額で、総額7789万4千円となりました。
社会福祉協議会の事業は、みなさまからの会費や寄附金、共同募金などのご支援、ご協力により成り立っております。

令和6年度予算

1/31 常磐地区社協視察研修旅行



常磐地区社会福祉協議会は、1月31日に視察研修旅行を行いました。筑波宇宙センターでは、『きぼう』の運用管制室をガラス越しに視察しました。センター職員の方々は24時間体制で宇宙飛行士を支援しているそうです。昼食後は、道の駅常総を見学しながら、来年度事業に向けて意見を交わしました。

3/5 多古町老人クラブ連合会 会員研修旅行



3月5日、多古町老人クラブ連合会会員研修旅行が行われました。今回の旅行は20名の参加者で館山市へ日帰りで行われました。午前中にいちご狩りを楽しみ、日本三大金運神社の一つである安房神社を参拝し、昼食に浜焼きの食べ放題で、大きなホタテやハマグリなどをいただきました。

移動のバスの中でも、参加者同士で偶然、久しぶりに行き会った方もいて、懐かしい話に花が咲いていました。



カメラ 地区の出来事・
ふくし ボランティア活動を
ポ 紹介するコーナーです。



2/6 多古町社会福祉協議会長杯 二チレクボール大会



優勝：十余三長楽喜会第二Cチーム



準優勝：十余三長楽喜会
第一②チーム

準優勝：島Bチーム

2月6日、多古町社会福祉協議会長杯二チレクボール大会が行われました。

23チーム・69名の参加者と各地区の応援団が参加し、白熱した戦いが行われました。準優勝は勝利数、得点数ともに同率のため2チームを表彰しました。

3/9 多古ライオンズクラブ杯 パークゴルフ大会



男性の部優勝：海保 氏匡さん（大門）
女性の部優勝：香取 さちさん（次浦）

3/14 グラウンドゴルフ部大会



優勝：三上 愛子さん
（中央・出沼）
準優勝：海保 氏匡さん
（右・大門）
三位：石井 恵子さん
（左・十余三）

つなげ「地域」、そだてよう「人」

日常生活をおくる中で お困りごとはございませんか？

■多古町心配ごと相談所

社会福祉協議会では、毎週水曜日に無料で相談を行っています。

電話でも相談を行っていますので、お気軽にご相談ください。

時 間：毎週水曜日 13:30～15:30

と ころ：多古町社会福祉協議会

■日常生活自立支援事業

在宅の日常生活の中で、障がいのある方（知的障害、精神障害、身体障害）、十分な判断ができない、体の自由がきかない方を対象に、安心して生活できるよう日常的な金銭管理についての支援を行う有料のサービスです。

①福祉サービス利用援助（福祉サービスの情報提供、福祉サービスを円滑に利用するための援助。）

②財産管理サービス（毎日の暮らしに必要なお金の出し入れや、公共料金等の支払いの援助。）

③財産保全サービス（預金通帳や印鑑などの大切な書類を預かります。財産保全サービスのみの利用は行いません。）

■生活福祉資金

低所得世帯、障害者または高齢者世帯に対し、資金の貸付を行っています。

民生委員及び社会福祉協議会が行う必要な相談支援により、その世帯の経済的自立や安定した生活を図ることを目的とした貸付制度です。（利用に關しては一定の要件があります。）

◎資金の種類

・総合支援資金 ・福祉資金 ・教育支援資金

※各資金にはそれぞれ貸付の条件や基準があります。

※他制度優先となります。他に資金を利用する方法がある場合は、原則として貸付対象になりません。



お元気ですか？

食事サービス

社会福祉協議会では、ひとり暮らしで見守りの必要な高齢者の方々に、月に一度（4月・8月・1月は休み）安否確認として多古町保健推進員に作っていただいた心のもったお弁当を、配食・運転ボランティアの方々のご協力をいただいております。



令和6年度の食事サービスの予定は下記のとおりです。

第1回	令和6年5月23日(木)	第6回	11月7日(木)
第2回	6月25日(火)	第7回	12月12日(木)
第3回	7月12日(金)	第8回	令和7年2月6日(木)
第4回	9月10日(火)	第9回	3月11日(火)
第5回	10月10日(木)		

☆会費納入にご協力下さい☆

みなさんからの会費は、多古町社会福祉協議会の事業を推進していくための重要な資源です。

みなさんが生きがいとやすらぎのあるまちづくりをめざし、これからも活動を続けていきます。

会費の納入に、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ◆一般会費(一世帯) 1,000円/年
- ◆賛助会費(団体や個人) 1,000円/年
- ◆特別会費(法人、企業など) 3,000円/年

善意のご寄付ありがとうございます

(令和6年2月～令和6年3月)

『福祉活動に役立ててください』と、次の方々から寄付金などをいただきました。ありがとうございます。(敬称略・単位：円)

- 食事サービス運転ボランティア 65,000円
- 日蓮宗千葉県東部宗務所
宗務所長 新川智光 50,000円
- 匿名 2,482円
- 匿名 177円
- 多古町立多古中学校 15円



職員の異動

社会福祉協議会職員の異動
がありました。

採用 令和6年4月1日付 業務係 椎名 春矢	退職 令和6年3月31日付 係長 菅野 梢	
---------------------------------	--------------------------------	--